

津山市の新しい“顔”となるロゴマーク 誕生

図秘書広報室(秘書) ☎32-2026

人口減少社会を迎え、移住・定住人口の増加に向けた対策が急がれる中、市では、平成27年度からシティプロモーション事業に取り組んでいます。その一つとして、津山市のイメージを表す新たなロゴマークを制作しました。

ロゴマークのコンセプト

津山には、1300年にわたる歴史や豊かな自然など、多くの“ほんもの”があります。その“ほんもの”を身近に感じながら、充実した暮らしを送ることができる津山のイメージを伝えたい、という願いを込めています。

そして今、津山で暮らしている人やこれから津山に住む人たちが、自分自身の夢や希望、思いを実現させ、“ほんもの”の暮らしができるまちである、という意味を表現しています。

デザインは、歴史と文化の象徴として津山城の「石垣」をモチーフにしました。津山に住む人々の夢や希望が開花してほしいという願いを、桜の花びらに込めています。ハート型にも見える花びらは、人々の心を引き付け、まちの愛らしさや優しさを表現しています。

あわせて、このロゴマークで使用している「桜色」を津山のシンボルカラーとしました。

活用方法

このロゴマークとキャッチフレーズは、津山市全体をイメージしたものとして、庁用車や封筒、チラシ、ポスター、そのほか市が取り組む事業などで使用し、市民の皆さんをはじめ、全国に浸透するよう活用していきます。



新しく制作したロゴマーク

策定しました「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

図地域創生戦略室 ☎32-7001

市では、現在、直面している人口減少や少子化などの問題に歯止めをかけ、将来にわたって発展し、活力あふれるまちづくりを実現するため、平成27年10月に「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

この総合戦略は、津山地域の産業・教育・行政・金融・労働団体・報道機関の代表と、市民公募委員で構成する津山市地域創生協議会の中で述べられた意見などが反映されたものとなっています。

人口減少や少子化の問題を克服するためには、市役所だけでなく、市民の皆さんをはじめ、企業や教育機関などが互いに連携を強め、協力して取り組みを進めていくことが不可欠です。「魅力と活力あふれる津山」の創生に向かって、皆さんのご協力をお願いいたします。

なお、「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は市ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

津山市の人口の将来展望「2060年70,916人の人口を維持」

日本の人口は、2013年時点で1億2,730万人でしたが、2060年には8,674万人まで減少すると推計されています。津山市でも、1995年の113,617人をピークに減少に転じ、2060年には約54,000人になると推計されています。

特に若者世代の減少が著しく、これがさらなる少子化の要因になると考えられています。このまま人口減少が続けば、地域経済の縮小やコミュニティの活力の低下など、さまざまな市民生活に影響を及ぼしかねません。

津山市では、出生率の向上と、若者や子育て世代の転出に歯止めをかけ、人口構造の若返りを目指して、2060年に70,916人以上の人口を維持することを目標としています。



津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略における5年間の主な取り組み

5年間で500人の新規雇用を生み出す

若者が働ける場所づくり

- つやま産業支援センターを中心に、津山市で新たに創業を希望する人への支援や、高い技術力を有する人材の育成、事業者の商品の販路拡大や技術開発などをサポートします
- 歴史や文化など、多様な観光資源の活用と情報発信力を強化し、国内外から観光客を呼び込める観光拠点づくりを進めます。それに伴う経済効果の向上も目指します
- 「津山産小麦」や「つやま和牛」、「美作材」など、農林業生産物の高付加価値化を図り“儲かる農林業”を目指します

若者が津山に戻ってくることができる環境づくり

- 奨学金を返還するための新たな助成制度の創設や、就職活動への経済的な支援など、学生が地元の企業に就職しやすくなるための仕組みを作ります
- 「住まい」の支援や移住相談会、移住体験ツアーなど、「津山に若者が戻ってくる」ための支援をします



移住相談会の様子

出生率の向上《平成25年1.62》⇒《平成31年1.67》

結婚・出産・子育てしやすい環境づくり

- 結婚に関するセミナーや婚活イベントなど、結婚を希望する人の出会いときっかけづくりをサポートします
- 妊娠～子育て期にわたる総合的相談支援をワンストップで提供する「子育て世代包括支援センター」を新設するなど、安心して子育てができる環境づくりを進めます
- 妊娠・出産を希望する人のための不妊・不育治療の助成を拡充します
- 第3子以降の保育料が無料になる条件を見直し、子育て支援策を充実させます



ベビーマッサージの様子

魅力と活力あふれるまち・津山の実現へ

津山広域都市計画の変更案の縦覧

図〒708-8501津山市山北520都市計画課(市役所5階) ☎32-2096

〒708-0841津山市川崎458津山圏域衛生処理組合事務局 ☎26-1352

津山広域都市計画の変更案の縦覧を行います。意見のある人は意見書を提出してください。

内容 津山広域都市計画汚物処理場の変更(川崎地内)

縦覧期間 1月8日(金)～22日(金)午前8時30分～午後5時15分

縦覧場所 都市計画課または津山圏域衛生処理組合事務局

意見書の提出方法 都市計画課または津山圏域衛生処理組合事務局に意見書(任意の様式)を郵送または直接提出する

受付期間 1月8日(金)～22日(金)必着

ふるさと納税であなたの会社の商品やサービスをPRしませんか

図経済政策課 ☎32-2081

市では、5,000円以上のふるさと納税をしていただいた人を「ふるさと津山サポーター」として登録し、「ふるさと津山サポーター年間パスポート」を発行しています。

この「ふるさと津山サポーター年間パスポート」を提示することで、提供していただける商品やサービスを募集しています。

商品価格や入場料などの割引、粗品などの進呈、その他、業種に応じたサービスなどを、無償でご提供ください。

また、津山市に10,000円以上のふるさと納税をされた人に贈呈するお礼品として、商品(物品以外のサービスでも可)を提供していただける企業も、随時募集しています。

※申込方法など、詳しくはお問い合わせください

